

## 助成金対象活動報告書(平成23年度)

活動名	様々な移動制約者が無理なく、楽しく移動できる歩行空間を創出するための人材育成と調査研究		
団体名	社会福祉法人視覚障害者支援総合センター就労継続支援B型施設「チャレンジ」 (平成 10 年 5 月設立)		
活動費	376,442 円	助成金額	360,000 円

### 1 助成対象事業費内訳(実績)

\* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

\* 支出を証明する領収書をご提出ください。

収入		予算額(円)	決算額(円)	実績(内訳)	
	団体負担金			16,442	
	活動収入				
	その他の収入	96,300			
	長寿応援ファンド助成	360,000	360,000		
	計	456,300	376,442		

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	決算額内訳
	謝礼金等	140,000	165,000	30,000円×3回=90,000円 20,000円×1回=20,000円 10,000円×1回=10,000円 5,000円×3人×3回=45,000円
	消耗品費	50,000	8,442	事務用品等 8,442円
	印刷費	150,000	133,160	講演会(5回)資料[点訳] 53,000円 立体コピー作成(300枚) 20,160円 報告書作成(30部) 60,000円
	通信運搬費	90,000	48,740	区内駅調査移動費等(19駅/延4人/9日間) 48,740円
	使用料・賃借料	6,300	11,650	2,650円×4日=10,600円 1,050円×1日=1,050円
	備品費			
	その他の経費	20,000	9,450	図書資料(4冊) 9,450円
	計	456,300	376,442	

活動名: 様々な移動制約者が無理なく、楽しく移動できる  
歩行空間を創出するための人材育成と調査研究

## 2 事業の目的・内容

\* 申請時の活動計画書に記載したものを記入してください。

目的	① 施工者、開発者へ適切な助言ができる移動制約者(障害者・高齢者)の育成 ② 障害者の移動空間の問題について、区民へ啓発を行い共に課題に取り組む
計画内容	講演会(5回)と区内の駅の現地調査

## 3 活動の実施状況

\* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

	計画時(予定)	実施時
実 施 状 況	<b>【講演会】</b> ① 下肢障害者 ② 精神障害者 ③ 視覚障害者 ④ まちづくり ⑤ 移動サービス  <b>【現地調査】</b> 区内19駅  <b>【実践報告書の作成】</b>	<b>【講演会】あんさんぶる荻窪</b> ① 7/26「下肢不自由者の日常生活」杉並区の移動サービス参加者: 25名 ② 8/31「ようこそ、交通バリアフリーワールドへ」参加者: 23名 ③ 9/20「ようこそ、ガイドヘルプワールドへ」参加者: 27名 ④ 10/27「音が物言う世界とは？」参加者: 30名 ⑤ 11/28「精神障害とは」参加者: 38名 ⑥ 12/17「災害と障害者・高齢者」参加者: 27名  <b>【現地調査】</b> 10/15,16 11/12,13 12/10,11,17 に区内の駅を調査。  <b>【実践報告書の作成】</b> 1~2月に作成(区内の駅及びゆうぼうと調査)

## 4 実施活動の効果・成果

\* 活動計画書に記載した「期待される効果」と、活動を実施してどのような効果・成果があったかを記入してください。

	計画時の「期待される効果」	実施後の「実際の効果・成果」
効 果 ・ 成 果	○ 様々な障害の理解を深めることができる。 ○ 施工者・開発者に必要とされる移動制約者を育成することができる。 ○ 障害者がまちを歩くことにより健康増進を図ることができる。	○ 講演会、調査を通して、移動制約者の育成を図ることができた。 ○ ゆうぼうと(品川区)に対して問題提起をし調査・整備を行う人材を育成できた。 ○ 区内19駅を調査することにより、触知図に対する新たな提案ができ、今後の研究につながった。

活動名: 様々な移動制約者が無理なく、楽しく移動できる歩行空間を創出するための人材育成と調査研究

## 5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問3 独自の創意工夫で、特色ある活動できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	「充分できた、ほぼできた」と回答した場合は特色を、「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入して福祉の問題を「移動」という観点にたつて横断的にしている点である。また、1か月に1回のペースで6か月間、その道の専門家をよんで講演会を行ったこと。
問4 申請時の収支見込は適切でしたか。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった	
効果・成果	問5 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「活動計画書①」の実施効果欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問6 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった 講演会参加者が引き続き、歩行訓練の勉強をしている。
	問7 実施した活動はどのような点で社会貢献になっていますか。
	障害に関心がなかった区民、障害のことを知らなかった区民を巻き込んだこと。チャレンジ利用者が全回参加して、他の障害のことを専門家を通じてある程度の理解ができた。また、違う作業所の利用者も聞きに来たこと。
	問8 どのような実施効果がありましたか。
	私が大きな問題と感じている障害者の他の障害への理解が少しは深まったと感じています。また、五反田にある「ゆうぼう」と建物内の移動支援のコンサルタント事業を開始できた。利用者とともに現地調査を行い、施設改善を行う。特筆すべきは、現状の施設を最大限に活用し、経費をかけずに、効果的に視覚障害者に支援し(持ち歩ける点字書類の情報提供)、他の移動制約者に不利益にならないような改善を行う。このような事業の問い合わせが来て、それに対応できること。
	問9 ファンド助成金を受けて良かったと思う点はありますか。
	短期間、継続してさまざまな障害当事者、また専門家に講演をお願いできたこと。また、社会的に意味があるといっても、日常業務に直結しているといえない事業に対しての支出は難しいので、今回のように集中して、講演会を開けたことは非常にありがたく思っています。
問10 参加者や保護者、地域など関係者から寄せられた声を具体的に記入してください。	
《アンケートから抜粋》 ・様々な音サインを出していただき、初めて聞くような印象だったが、実は日常的に聞いていることに気づかされて、いかに自分が音に鈍感なのかを思い知った。これからは、もう少し気を付けて街を歩きたいと思えます。 ・質疑が興味深かった。 ・視覚障害者への手引きの演習をさせていただき、ためになった。 ・相手に立場に立つことの大切さを実感できた。 ・障害者の方と同席で学んだことがなく、非常に新鮮だった。 ・勉強になりました。ありがとうございました。等々	
その他	問11 自由意見
	この活動は、助成金を得たとしても、自分たちだけでは完結しないもので、杉並区の関係部署の方々が協力していただけたことが非常にありがたかったです。また、区の関係者も聴講に来ていただき非常にありがたかったです。

## 助成金対象活動報告書(平成23年度)

活動名	杉並に伝わる民話を紙芝居で伝える活動		
団体名	特定非営利活動法人図書館サービスフロンティア (平成 16 年 1 月設立)		
活動費	428,860 円	助成金額	400,000 円

### 1 助成対象事業費内訳(実績)

\* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

\* 支出を証明する領収書については、原本と写しをご提出ください。

収入		予算額(円)	決算額(円)	実績(内訳)
	団体負担金	200,000	28,860	
	活動収入	60,000		
	その他の収入			
	長寿応援ファンド助成	400,000	400,000	
	計	660,000	428,860	

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	決算額内訳
	謝礼金等	80,000	67,000	40,000円×1回=40,000円 12,000円×1回=12,000円 9,000円×1回= 9,000円 6,000円×1回= 6,000円
	消耗品費	28,000	38,500	紙、クレヨン、鉛筆 18,000円 インク代 20,500円
	印刷費	364,000	223,500	紙芝居作成(7作品×12枚×2部) 80,000円 紙芝居複製(7作品×12枚×2部) 40,000円 ポスター(3,000円×8枚×3回) 72,000円 チラシ(10円×1,000部×3回) 31,500円
	通信運搬費			
	使用料・賃借料	16,000	17,180	5,180円×1日=5,180円 12,000円×1日=12,000円
	備品費	172,000	82,680	紙芝居製作費(4作品) 60,000円 のぼり旗(台付)製作費(5,400円×4本) 22,680円
	その他の経費			
	計	660,000	428,860	

活動名:	杉並に伝わる民話を紙芝居で伝える活動
------	--------------------

## 2 事業の目的・内容

\* 申請時の活動計画書に記載したものを記入してください。

目的	杉並区内に伝承されている昔話・民話などを、子どもから大人まで誰でも親しめる紙芝居として生き返らせ、郷土への愛着心を啓発する。
計画内容	書籍として残っている杉並の昔話・民話などを紙芝居として復元する。 郷土博物館や杉並アニメミュージアムでの定期口演のほか、出張口演を実施する。

## 3 活動の実施状況

\* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

	計画時(予定)	実施時
実 施 状 況	定期口演 (1)郷土博物館分館:毎月第1火曜日、第3土曜日 (2)杉並アニメミュージアム:毎月第4日曜日  出張口演 ・ゆうゆう館 ・児童館 ・学校 ・セシオン杉並 ・区民センター ・町会、商店街イベント	定期口演 32回実施 参加者603人  出張口演 47回実施 参加者1,810人 (介護福祉施設、町会イベント、小学校、高校、大学学園祭 等で実施)

## 4 実施活動の効果・成果

\* 活動計画書に記載した「期待される効果」と、活動を実施してどのような効果・成果があったかを記入してください。

	計画時の「期待される効果」	実施後の「実際の効果・成果」
効 果 ・ 成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への愛着心が生まれる。</li> <li>・子どもたちに昔の生活を伝承できる。</li> <li>・町会、商店街のイベントに参加し活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も子どもも地域に対して新たな発見することができ、好評であった。</li> <li>・活動の認知度が上がり、定例活動として新たに地域活性化イベントに参加することになった。</li> <li>・紙芝居を通して地域とのコミュニケーションが図れた。今後、都立杉並総合高校で奉仕授業を行うことになった。</li> </ul>

活動名： 杉並に伝わる民話を紙芝居で伝える活動

## 5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問3 独自の創意工夫で、特色ある活動できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった 「充分できた、ほぼできた」と回答した場合は特色を、「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入して紙芝居口演活動が助成対象ということで協力してくれる団体(町会、商店街、図書館など)があり新作及び既作の作り直しに着手出来た。
活動内容と実施	問4 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問5 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「活動計画書①」の実施効果欄に記載した内容に対応させてください。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問6 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった 永福町商店街の夢プロジェクトに参加することになった。 都立杉並総合高校での奉仕授業に紙芝居を取り入れた。
	問7 実施した活動はどのような点で社会貢献になっていますか。
	製作した紙芝居が身近な話で手作りなので子供たちは興味を持ち紙芝居に対する関心度が高まったような気がします。自ら読みたがる子も多く、学校によっては課外授業で地元を知る活動に取り入れるところもある。また、お年寄りも誘い合わせて参加しとても楽しんでくれる。
	問8 どのような実施効果がありましたか。
	助成対象団体であるということで知名度が上がった。 <input type="checkbox"/> 商店街のイベントに参加(永福町商店街「夢プロジェクト」、永福町駅ビル屋上「ふくにわ」での定期公演) <input type="checkbox"/> 図書館での口演(阿佐谷図書館、西荻図書館) <input type="checkbox"/> 都立杉並総合高校「奉仕授業」にて紙芝居を通して体験学習(製作と校外実習4回講座)
	問9 ファンド助成金を受けて良かったと思う点がありますか。
紙芝居口演活動に緊張感が生まれてレベルアップになった。 <input type="checkbox"/> 既存の紙芝居の再製作(メンテナンス)が計れた。 <input type="checkbox"/> 紙芝居口演の1部、DVD化をすることが出来た(現在編集中、24年1月完成予定)。貸出可能で広めたい。	
問10 参加者や保護者、地域など関係者から寄せられた声を具体的に記入してください。	
<input type="checkbox"/> 地域のお年寄り:継続的に続けて欲しいとの要望のある。お金のかからない楽しみ。 <input type="checkbox"/> 阿佐谷図書館:身近にある昔話を今後とも広めたい、他館にも紹介をする。 <input type="checkbox"/> 子供、保護者:子供が参加できる企画をしてほしい(子供に読ませるなど) <input type="checkbox"/> 商店街:イベントの親子連れの参加に役立つ。	
その他	問11 自由意見

## 助成金対象活動報告書(平成23年度)

活動名	伝統芸能日本舞踊こども教室		
団体名	舞の会 (平成元年4月設立)		
活動費	406,441 円	助成金額	389,000 円

### 1 助成対象活動費内訳(実績)

\* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

\* 支出を証明する領収書をご提出ください。

収入		予算額(円)	決算額(円)	実績(内訳)	
	団体負担金			641	
	活動収入				
	その他の収入	15,000	16,800	保険代(500円×30人)、バス代(100円×18人)	
	長寿応援ファンド助成	486,820	389,000		
	計	501,820	406,441		

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	決算額内訳
	謝礼金等	163,240	153,240	3,000円×18回×2人=108,000円 420円×18回×4人=30,240円 10,000円×1人=10,000円 5,000円×1回=5,000円
	消耗品費	158,600	136,571	インクリボン、紙、カセットテープ、MD・CD、小道具材料、 写真印刷用紙、封筒、扇(30ヶ)、足袋(30足)
	印刷費	12,000	9,680	チラシ(1.9円×5,000部) 9,500円 メール便 180円
	通信運搬費	10,500	9,320	はがき(50円×72枚) 3,600円 切手(80円×67枚、90円×4枚) 5,720円
	使用料・賃借料	134,200	79,150	4,650円×16回=74,400円 2,200円×1回=2,200円 2,550円×1回=2,550円
	備品費			
	その他の経費	23,280	18,480	保険代(500円×30人) バス代(100円×18人、420円×4人)
	計	501,820	406,441	

## 2 活動の目的・内容

\* 申請時の活動計画書に記載したものを記入してください。

目的	伝統芸能である古典日本舞踊を伝承する 歌舞伎と日本舞踊の知識を養い関心を高める 高齢者や障害者の立場を考え、ふれあいを通じ、敬う心、労わる心を養う
計画内容	古典舞踊、手話舞踊、礼儀作法を学ぶ。最後に成果発表会と老人ホームでの訪問発表会を行う。

## 3 活動の実施状況

\* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

	計画時(予定)	実施時
実 施 状 況	実施期間: 平成23年6月25日～平成24年3月31日 場所: 西荻地域区民センター、はちみつシアター 対象者: 杉並区立の小学1～6年生 30名  月2回土曜日に実施 全18回 古典舞踊、手話舞踊、礼儀作法を学ぶ	計画通り実施できた。 ・浴衣の着方 ・礼儀作法 ・姿勢 ・基本動作指導 ・扇についての名称解説、表現の仕方 ・古典舞踊の指導 ・振りの意味説明 ・手話について表現の仕方 ・手話を使って舞踊稽古 ・成果発表会 2月: 吉祥女子中等学校ホール ・老人ホームでの交流と舞踊発表 3月: 杉並区立特別養護老人ホーム「上井草園」 ・交流会

## 4 実施活動の効果・成果

\* 活動計画書に記載した「期待される効果」と、活動を実施してどのような効果・成果があったかを記入してください。

	計画時の「期待される効果」	実施後の「実際の効果・成果」
効 果 ・ 成 果	○日本の伝統芸能の体験 ○和の礼儀作法の修得 ○老人ホームへの訪問から、高齢者と子どもとのふれあい交流	○日本の伝統芸能の体験 古典舞踊の稽古で、踊りの意味、唄の意味を通じて日本文化を学んだ。7曲修得した。  ○和の礼儀作法の修得 練習開始、終了時の正座での挨拶を通じて作法を習得した。 「礼儀正しい挨拶が出来るようになりました」と保護者から感謝の声を多数いただいた。  ○老人ホームへの訪問から、高齢者と子どもとのふれあい交流 高齢者との会話、握手、踊りの発表 多くの高齢者が一緒に歌って一体感が生まれました。会話や握手でふれあい交流を行いました。高齢者から声をかけられ子ども達は自信を持ってくれた。



活動名： 伝統芸能日本舞踊こども教室

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問3 独自の創意工夫で、特色ある活動できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった <small>「充分できた、ほぼできた」と回答した場合は特色を、「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入して子供1人1人の性格に合わせた指導スピードを心掛けている。発表会での世代間交流を通して敬う心を養うことを特色としている。</small>
効果・成果	問4 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
	問5 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	<small>長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「活動計画書①」の実施効果欄に記載した内容に対応させてください。</small> <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
効果・成果	問6 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった <small>新たに2つの老人ホームより、お声をかけていただき、子どもたちの発表の場、ふれあいの場が増えています。</small>
	問7 実施した活動はどのような点で社会貢献になっていますか。
	<small>老人ホームを訪問します。世代を越えた交流が出来ることを目指しています。</small>
効果・成果	問8 どのような実施効果がありましたか。
	<small>伝統芸能の体験や礼儀作法の修得を実施効果として掲げました。具体的には、着物が着られるようになったり、正座での挨拶が出来るようになりました。また、邦楽の音・三味線や鼓の音を聞き取れるようになりました。高齢者とのふれあい交流を通して、接する事への大切さを学んでくれました。</small>
	問9 ファンド助成金を受けて良かったと思う点がありますか。
	<small>活動の財政基盤が強化され、充実した活動が出来ました。保護者の信頼を得て、安心して子供を預けてもらえました。活動範囲もひろがりました。</small>
その他	問10 参加者や保護者、地域など関係者から寄せられた声を具体的に記入してください。
	<small>参加児童、保護者より、とても楽しい・とても勉強になるというお声いただいています。老人ホームの方より、待ち遠しい、楽しみにしていると期待のお声を寄せていただいています。</small>
その他	問11 自由意見
	<small>今年度採用させた団体は来年度の助成金申請資格がないと聞いていますが、さらに活動を続けていく為に、ぜひともお願いできるような事を期待します。</small>

## 助成金対象活動報告書(平成23年度)

活動名	あっとホーム麻雀さろん、あっとホームお茶の間書道教室、あっとホームパソコンさろん		
団体名	特定非営利活動法人新しいホームをつくる会 (昭和 59 年 7 月設立)		
活動費	569,565 円	助成金額	414,000 円

### 1 助成対象活動費内訳(実績)

- \* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。
- \* 支出を証明する領収書をご提出ください。

団体の努力と工夫により地域で親しまれる大盛況のサロンが開設でき、当初の予定回数を大幅に変更し実施した。その結果、参加費のみで活動経費の全てを賄うことができたため、長寿応援ファンド助成金全額の返金があった。

収入		予算額(円)	決算額(円)	実績(内訳)	
	団体負担金				
	活動収入	396,000	652,540	参加費:1人1回 1,000円 教材費	
	その他の収入				
	長寿応援ファンド助成	517,600	414,000		
	計	913,600	1,066,540		

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	決算額内訳
	謝礼金等	600,000	310,000	3,000円 × 62回 = 186,000円 2,000円 × 62回 = 124,000円
	消耗品費	92,400	59,517	書道材料費 13,685円 麻雀パイ 5,970円 麻雀台 28,035円 その他消耗品 11,827円
	印刷費	20,000	4,960	チラシ
	通信運搬費	11,200	3,000	はがき(50円 × 60枚) 3,000円
	使用料・賃借料			
	備品費	190,000	151,200	PC2台 81,900円、69,300円
	その他の経費		40,888	送迎経費 9,925円 お茶、お茶菓子 30,963円
	計	913,600	569,565	

活動名:	あっとホーム麻雀サロン、あっとホームお茶の間書道教室、あっとホームパソコンサロン
------	--

## 2 活動の目的・内容

\* 申請時の活動計画書に記載したものを記入してください。

目的	地域の比較的元気な中高年の方々に憩いとコミュニケーションの場を提供する。 脳トレーニング、手指の活性化を通して介護予防に寄与する。
計画内容	高齢者の交流の場としてサロン(麻雀、書道、PC)を開設する。

## 3 活動の実施状況

\* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

	計画時(予定)	実施時
実 施 状 況	実施日 毎週木曜日 午後1時半から4時半 ・麻雀 第1,3,4,5木曜日 ・書道 第2木曜日 ・パソコン 第2,4木曜日	・計画内容通り実施できた。 ・麻雀は反響が大きかったため、活動日を増加した。 (10月から第1,3,5月曜日も開設)
	実施会場 新しいホームをつくる会事務所 対象者 地域の中高齢者 実施内容 麻雀(定員20人、48回) 書道(定員5人、12回)、 パソコン(定員 人、24回) ティータイムで参加者同士の交流	あっとホーム麻雀サロン 67回実施 あっとホームお茶の間書道教室 12回実施 あっとホームパソコンサロン 34回実施

## 4 実施活動の効果・成果

\* 活動計画書に記載した「期待される効果」と、活動を実施してどのような効果・成果があったかを記入してください。

	計画時の「期待される効果」	実施後の「実際の効果・成果」
効果・成果	○地域交流の拠点としての効果促進 ○引きこもりがちな高齢者を外出へと誘う効果 ○介護予防(認知症予防)への効果 ○地域へ根強く活動を行うという会のあり方を周知する効果	麻雀、パソコン、書道の各サロンとも、所期の目標は達成できた。 【麻雀】 高齢者が集いやすく脳トレには最適な手段ということもあり、当初から一定の集客は見込めたが、予想を上回る希望者があったため、途中から回数を増やして対応した。麻雀というゲームを介護予防に繋げた効果は絶大であり、ともすると出不精になりがちな高齢者が嬉々として集いあっていた。相互の交友関係の拡がりも見逃せない成果の一つである。 【パソコン】 個別指導の難しさがあったが、無から有を生じさせる喜びを受講者に感じてもらえたことが最大の成果である。難しいことに挑戦する気持ちは、若返り効果を触発する良い機会だったとの受講者の声が聞こえたことがスタッフの励みにもなった。 【書道】 高齢者の得意分野であり、自分の作品をみんなに褒めてもらえることに一種の快感を得ている点に着目し、個々人のプライドをくすぐる指導法が好評だった。

活動名:	あっとホーム麻雀サロン、あっとホームお茶の間書道教室、あっとホームパソコンサロン
------	--

## 5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問3 独自の創意工夫で、特色ある活動できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	「充分できた、ほぼできた」と回答した場合は特色を、「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入して 駅から近い会場で、場内では音楽を流し続けるなど参加者が交流しやすい安らぐ空間を用意した。友人との交流が楽しい ようで、予想を上回る参加者が定着している。木曜日が満杯状態になり第1/第3月曜日にも実施することとした。
問4 申請時の収支見込は適切でしたか。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった	
効果・成果	問5 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「活動計画書①」の実施効果欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問6 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった 出無精になりがちになっていた方が毎週とても楽しみに通って来られたり、口コミでケア24との繋がりができ紹介できる方 も増えた。地域の方とも交流が広がりコミュニケーションが活発になった。
	問7 実施した活動はどのような点で社会貢献になっていますか。
	(1) 地域に根ざした介護予防のためのサロンという、所期の目的が達成できている。 (2) サロンの実施により「新しいホームをつくる会」の他の活動内容について理解を深めていただく結果となった。 (3) ひきこもりがちな高齢者を外にいざなうことにより、高齢者自身に生きがいを感じていただける効果があった。
	問8 どのような実施効果がありましたか。
	麻雀に関しては当初、昔やったことのあるおぼろげな記憶に頼っていた方々が時を経るに従って手作りを楽しめるくらいに 上達し喜ばれた。書道やパソコンについては初めてのことに挑戦する気持ちが若返りや脳の活性化に大いなる効果をもた らしたと思料する。
	問9 ファンド助成金を受けて良かったと思う点がありますか。
	各サロンともボランティアの方々が指導者となり活動を盛り上げていただいているが、計画段階では無償でお願いする心 づもりでいたところ、助成金を得られたことにより些少でも謝礼金を支払える状況が生じた。その他経費面でも会の持ち出 しをセーブすることが出来、大いに助かっている。
問10 参加者や保護者、地域など関係者から寄せられた声を具体的に記入してください。	
参加者からの評判は一律に好意的なもので、毎回の参加が待ち遠しい旨の声をいただいている。地域関係者(例としてケ ア24)からも内容や実施日についての問い合わせが多く聞かれ認知度が上がっていることが感じられる。	
その他	問11 自由意見
今回のファンド助成制度は少ない資金で運営する弱小NPOにとって千天の慈雨の如く効果的なもので、この助成を受けら れたことは望外の幸せと感じている。今後も趣旨に沿って高齢者の生きがいや脳活性の一助となるべく、また地域ぐるみ で高齢者を支え見守る気持ちを大切にしながら活動を続けていきたい。	

## 助成金対象活動報告書(平成23年度)

活動名	阿佐谷盆踊りを楽しむ会「盆楽」		
団体名	阿佐谷盆踊りを楽しむ会「盆楽」 (平成 19 年 3 月設立)		
活動費	752,501 円	助成金額	300,000 円

### 1 助成対象活動費内訳(実績)

\* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

\* 支出を証明する領収書をご提出ください。

収入		予算額(円)	決算額(円)	実績(内訳)
	団体負担金	200,000	9,001	
	活動収入	506,000	443,500	会費 351,000円 月謝 92,500円
	その他の収入			
	長寿応援ファンド助成	332,000	300,000	
	計	1,038,000	752,501	

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	決算額内訳
	謝礼金等	548,000	394,000	講師謝礼 12,000円 × 17回 = 204,000円 関連団体謝礼 50,000円 イベント出演者謝礼 30,000円 × 4人 = 120,000円 10,000円 × 2人 = 20,000円
	消耗品費	39,600	38,673	文房具 8,684円 雑貨 2,929円 カセットCD 24,800円 メモ리카ード 2,260円
	印刷費	30,000	27,793	コピー 4,310円 ポスター(10枚) 10,000円 写真代 13,483円
	通信運搬費	2,100	3,370	道路使用許可証 2,100円 宅急便代 1,270円
	使用料・賃借料	292,000	155,320	東部自治会館(17回) 63,500円 商工会館 1,820円 新東京會館(3回) 90,000円
	備品費	117,300	125,640	ビデオカメラ 73,140円 盆キッズ衣装 52,500円
	その他の経費	9,000	7,705	保険料
	計	1,038,000	752,501	

活動名: 阿佐谷盆踊りを楽しむ会「盆楽」

## 2 活動の目的・内容

\* 申請時の活動計画書に記載したものを記入してください。

<b>目的</b>	活動範囲を拡大し、日本の伝統文化である盆踊りを地域へ定着させる。 踊る楽しさを多くの人に伝え健康増進を図る。
<b>計画内容</b>	通年の練習及びイベント出演

## 3 活動の実施状況

\* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

	計画時(予定)	実施時
<b>実 施 状 況</b>	○練習 大人(25人) 毎月第1,3火曜日、第2,4金曜日19時~21時 小人(13人) 毎週土曜日 18時~19時  ○イベント参加 7月 杉並及び他地域の盆踊り大会 8月 杉並及び他地域の盆踊り大会 阿佐谷七夕祭り前夜祭 特別養護老人ホームさんじゅ久我山 9月 杉並及び他地域の盆踊り大会 10月 池袋「ふくろ祭り」 すぎなみ舞祭 その他、冬に行われるイベント	○イベント参加 6月25日 すぎなみ舞祭りプレイベント(高円寺駅前) 7月 9日 杉一小夏祭り 7月16,17日 杉七小夏祭り 8月 4日 阿佐谷七夕祭り前夜祭 8月6,7日 梅里中央公園夏祭り 8月 7日 下井草サマーフェスティバル 8月27日 さんじゅ久我山夏祭り(老人ホーム) 8月28日 アリア高井戸夏祭り(老人ホーム) 10月 9日 池袋「ふくろ祭り」 10月23日 すぎなみ舞祭り 2月11日 生バンドで遊ぶ会(勤労福祉会館) 2月19日 子ども子育てメッセ

## 4 実施活動の効果・成果

\* 活動計画書に記載した「期待される効果」と、活動を実施してどのような効果・成果があったかを記入してください。

	計画時の「期待される効果」	実施後の「実際の効果・成果」
<b>効 果 ・ 成 果</b>	○日本の伝統文化を知る ○盆踊りの意義を理解し活動する ○商店街等地域の活性化 ○盆キッズを通じて子どもの育成 ○多世代間の繋がりを強化	○日本の伝統文化を知る 「盆踊り」という日本庶民文化の意味を子どもたちだけではなく大人にもさらに深く知ることができた。 ○盆踊りの意義を理解し活動する 震災で亡くなられた人々の鎮魂の意義を踊りに込めた。 ○商店街等地域の活性化 各イベント会場には大勢の方々が集まっており、地域の活性化に微力ながら貢献できた。次年度以降の出演依頼もいくつかいただいた。 ○盆キッズを通じて子どもの育成 仲間と一緒に行動することで、一人で勝手に行動することは迷惑になることを理解していった。がまんができるようになった。 ○多世代間の繋がりを強化 盆踊りは簡単で、幼児からお年寄りまで世代を超えて楽しむことができます。孤独になりがちな高齢者との交流が生まれました。

活動名：阿佐谷盆踊りを楽しむ会「盆楽」

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問3 独自の創意工夫で、特色ある活動できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	<p>「充分できた、ほぼできた」と回答した場合は特色を、「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。</p> <p>阿佐ヶ谷七夕前夜祭にかつてない企画。民謡歌手 三味線 太鼓の生演奏で盆踊りを踊り 3世代交流をめざし生演奏を体験するという試み。パールセンターの流し踊りのあとの時間に小さい子に負担はないか？懸念したが最後まで楽しんだ。大人は子供帰宅後 盆踊りを地域の方々と踊り続けた。</p>
問4 申請時の収支見込は適切でしたか。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった	
効果・成果	問5 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	<p>長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「活動計画書①」の実施効果欄に記載した内容に対応させてください。</p> <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問6 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった
	<p>商店街のイベント会議への参加要請があった。 紙芝居グループ「すかい」から声がかかり、阿佐谷子どもフェスティバルでワークショップを開催した。 杉七小の児童に月2回指導を行った。</p>
	問7 実施した活動はどのような点で社会貢献になっていますか。
	<p>5回目になるわけですが狭い通路で交通の妨げになるとか？批判的な目もあったなか 今回は商店街の方々の協力もころよく 応援も店の中から声掛けまでもいただくようになりました。実際 商店街の方々のお孫さんやお子様の盆キッズとして参加も今回初めてでした。商売に多忙の中、練習に協力いただき感謝の気持ちです。一人でも家族より参加者がでていただけるといのは まさに世代間交流なればこそと思います。核家族化 みな働く今日この頃 協力し合うことこそ 現代の欠かせない大切な人間形成のひとつだと思います。</p>
	問8 どのような実施効果がありましたか。
	<p>震災の後ということもあり(魂を慰めるという意義)を伝道することができ 伝統文化を再認識できたのではと確信する。踊ることに慣れる。体を動かすことは現代ストレスから開放されるというが何より踊りやすいのは(簡単)盆踊り。ちょっと覚えればすぐできる。だからこそ お年寄りから幼児まで世代をこえた盆踊り。かわいい子供を親は喜びまたその親の世代が心を和ませる。盆キッズは祖母の温かい目に 盆楽は盆キッズのかわいらしさとあどけない姿に安らぎがおのずと笑顔にかわる。来年も参加したいという声が聞こえる限りは続けたい。</p>
	問9 ファンド助成金を受けて良かったと思う点がありますか。
<p>助成金というブランドがついて周知への盆楽への認知度が上がった。やはり助成金なしではふんざりがつかなかった生演奏のイベント。運営するにあたっての資金面の安心感。これも助成金の効果だとも思う。真剣にこの企画に取り組んでいる姿に共鳴をいただいたということです。</p>	
問10 参加者や保護者、地域など関係者から寄せられた声を具体的に記入してください。	
<p>地域の方々から今まで以上に大きな反響を頂く。子供たちは自分が最後まで踊りきることができるとは思ってもいなかったといます。地域の方々から参加希望もいただきました。会が年々形になっていっています。見学者から今回の生演奏のイベントを来年も期待しているとの声があった。踊りが手をのばしきれないほどの満員入場者の白熱した子供から大人までの踊りの嬉しそう楽しそうな顔が 帰宅しようとしないうちが今回のイベントの成功の声であったと思います。</p>	
その他	問11 自由意見
	<p>勢いで進んだ1年間は助成金のお陰だと思ふ。資金で購入した備品には助成金のシールなどをはり感謝の気持ちを、持つ人にいつまでも認識してもらいたいと思ふ。</p>

## 助成金対象活動報告書(平成23年度)

活動名	高齢者が創る21世紀の寺子屋		
団体名	特定非営利活動法人竹箒の会 (平成 12 年 8 月設立)		
活動費	517,224 円	助成金額	475,000 円

### 1 助成対象活動費内訳(実績)

\* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

\* 支出を証明する領収書をご提出ください。

収入		予算額(円)	決算額(円)	実績(内訳)	
	団体負担金			42,224	
	活動収入				
	その他の収入				
	長寿応援ファンド助成	594,300		475,000	
	計	594,300		517,224	

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	決算額内訳
	謝礼金等	269,000	276,000	講師謝礼 20,000円×1人=20,000円、15,000円×11人=165,000円、18,000円×1人=18,000円、10,000円×4人=40,000円、
	消耗品費	11,300	14,908	事務用品 4,618円 百人一首1箱 4,200円 江戸いろはかるた2箱 6,090円
	印刷費	70,000	44,816	コピー(モノクロ3,580枚) 25,721円 コピー(カラー250枚) 12,535円 インク代 6,560円
	通信運搬費	64,000	5,600	ハガキ代
	使用料・賃借料		10,900	高円寺北町会事務所(1回) 3,000円 セッション杉並(3回)日 7,900円
	備品費			
	その他の経費	180,000	165,000	設営経費 5,000円×18回=90,000円 企画会議(14回)参加旅費 1,000円×延75人=75,000円
	計	594,300	517,224	



## 2 活動の目的・内容

\* 申請時の活動計画書に記載したものを記入してください。

目的	志のある高齢者が、地域に密着し、地域において何ができるかを考え、一步一步着実に子どもたちと向かい合い、失われつつある日本の伝統や文化、精神を次の世代に正しく伝承していく。
計画内容	高齢者の知恵を活かし、小学生への文化や伝統の伝承、子育て中の母親の支援、シンポジウムを行う。

## 3 活動の実施状況

\* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

	計画時(予定)	実施時
実施状況	<p>地域の高齢者からスタッフを募り、高齢者の知恵を活用し、次世代へ継承していく。</p> <p>●寺子屋に集合！ 小学生を対象に日本の伝統と文化を正しく伝承する。 漢文、礼法、百人一首、竹トンボ</p> <p>●子育てママの応援団 孤独になりがちな子育て中の母親の仲間づくりの手助けや高齢者の知恵を活かした育児・教育の相談相手となる。</p> <p>●総合報告会・シンポジウム 事業に関係した方を中心に、地域で子どもを守るために何ができるかを話し合う。</p>	<p>●10月19,26日〔高円寺北2丁目会館〕 子育てママの応援団「子供が健康・安全に育つ食を考える」 講師：フードコーディネーター・矢森常子 参加者：各7名</p> <p>●2月17日〔堀之内小学校〕 寺子屋に集合＋子育てママの応援団 「子どもの本の読み聞かせ体験会」「子供昔遊び体験」 参加者：学校関係者5名、保護者42名、児童90名、講師4名、スタッフ6名</p> <p>●3月12,13日〔セシオン杉並〕 子育てママの応援団「子どもに読ませたい本選び」 参加者：43名</p> <p>●3月16日〔セシオン杉並〕 子育てママの応援団「子どもの心と向き合おう」 参加者：17名</p> <p>●3月17日〔高井戸西児童館〕 参加者：7名 寺子屋に集合「漢字に親しもう」</p> <p>●3月27日〔セシオン杉並〕 シンポジウム 参加者：21名</p>

## 4 実施活動の効果・成果

\* 活動計画書に記載した「期待される効果」と、活動を実施してどのような効果・成果があったかを記入してください。

	計画時の「期待される効果」	実施後の「実際の効果・成果」
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、子ども、母親、教師など、地域の教育に関係する人達の交流の場を提供することができる。</li> <li>・失われつつある日本の伝統・文化を見直し、それを伝承していくことの意味を認識し、高齢者が次世代に何を託さなければならないかを考えるきっかけとなる。</li> <li>・高齢者の活動の場の創出する。</li> </ul>	<p>寺子屋に集合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統文化である箸の使い方、箸の文化、正しく食事をいただくことの大切さを伝えた。</li> <li>・日本の和歌に触れ言葉の美しさを知る百人一首に親しんだ。</li> <li>・手作りの竹トンボ作りに挑戦し、上手に飛ばすコツを学んだ。</li> <li>・クイズを通して楽しく漢字を学んだ。</li> </ul> <p>子育てママの応援団 子どもが楽しい雰囲気の中で本を読み、本を好きになることの大切さ、子どもの心にきちんと向き合うことの大切さを理解する機会となった。</p> <p>※堀之内小学校で実施した内容は、今後も継続してほしいとの声が、学校や保護者から寄せられた。次年度計画で調整する。</p>

## 5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問3 独自の創意工夫で、特色ある活動できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	<p>「充分できた、ほぼできた」と回答した場合は特色を、「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入して当初予定していた独自の集客方法を変更し、小学校等と連携のうえ実施したことで、より地域に密着した寺子屋となった。</p>
問4 申請時の収支見込は適切でしたか。	
<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった	
効果・成果	問5 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	<p>長寿応援ファンド活動助成金交付申請書「活動計画書①」の実施効果欄に記載した内容に対応させてください。</p> <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	問6 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった
	<p>小学校との交流によって理解者が増えた。また、町会・商店会にも広報を依頼することで当会の活動への理解を深めてもらった。</p>
	問7 実施した活動はどのような点で社会貢献になっていますか。
	<p>高齢者の知恵を次世代に引き継ぐというミッションのもと、(1)高齢者の活動の場の創出(2)子供たちやその母親たちに高齢者の経験・知恵を引き継ぐという貢献ができると考えています。</p>
	問8 どのような実施効果がありましたか。
	<p>連携した小学校からは、また是非開催してほしいとの申し入れがあり、計画することになった。今後、この企画を他の小学校にも提案することを予定しており活動の場が広がる可能性も見えた。本来目指していた高齢者の知恵を、次世代、若いお母様や子ども達に伝えていくという交流の場が確保できた。</p>
	問9 ファンド助成金を受けて良かったと思う点がありますか。
<p>当会のミッションを実現する企画に資金援助をしていただけ、実現できる環境をいただいたことは非常に大きい。また、地域限定で行うこととしたので、地域の諸団体、学校をはじめとする教育施設、また地域町会・地域活動団体等との連携が強められた。</p>	
問10 参加者や保護者、地域など関係者から寄せられた声を具体的に記入してください。	
<p>小学校からは、非常に素晴らしい企画なので、是非多くの生徒・保護者に知らせてほしいとのご意向をいただいた。地域の関係者からも、非常に良い企画なので、ぜひ協力したいとの声もいただいた。</p>	
その他	問11 自由意見
	<p>計画実施が秋からであったが、諸条件整わず計画を延期。1月～3月の期間に圧縮し実施した。新規に計画した活動であるため、周知活動について広報掲載等の区の広報支援がほしかった。</p>